

スマイルラレ

11月3日初日編 (87km)

前田 一郎

朝6:30に徳山カソリック教会を出発。昨夜の深酒のせいか頭が重く、気分が悪い。

今日の戦術は、25分走って5分歩くというもの。これを10回以上は繰り返す。ジャーニーラン用に考え出した。根気よく11~12回やれば50キロは稼げる。そして後は、野となれ山となれだ。

3km付近で雨が落ちてきた。すぐ100円カップを着る。上半身を雨で濡らしてはならない。汗は仕方ないが、これはジャーニーランの鉄則だ。それにしても100円カップは重宝する。

ここで私のジャーニーラン用装備を紹介しておこう。

500ccのボトルをホルダーに納め、ホルダーのポシェットの中に、3000円入った防水小銭入れ、胃腸薬(ガスター10)、鎮痛剤(バップアリン)、飴玉5つを入れ、ホルダーのベルトには中タオルを挟み込む。

リュックの中には、財布、アンダーシャツの着替え、カップ、ポケットティッシュ、携帯電話をポリ袋で包んで入れ、消炎スプレー、ワセリン、おにぎり1個も必ず入れる。もちろん保険証のコピーや地図は忘れない。途中、どんなトラブルに出会っても対処できるし、最悪の場合、公共の交通機関を使って目的地まで辿り着かなければならないからだ。ここがレースと違うところで、すべてにおいて自己責任なのだ。

16~17km走ると椿峠にかかった。交通量が多いうえに途中で歩道が切れる。恐る恐る右路側帯すれすれに上っていくと、オエー！犬が轢かれて腸が飛び散っていた。

この峠の下りから、晴れた日には国東半島が見える。コースディレクターの矢野君は、いつもここで「早よ帰りてえ」と叫ぶそうだ。

峠を下りて12kmに及ぶ防府市街地を抜け、佐波大橋のたもとまで来た。従来なら橋を渡るのだが、今年は、自分が新ルートを開発する。川沿いに土手道をずっと下り、500mはある河口に去年架けられた新防府大橋を渡るというもの。この橋は最新のナビにも載っておらず、矢野君は探すのに一苦労。そんな中、人も車もほとんど通らない道と橋を、私は爽快に通過し45km地点のポプラで昼めし。

この旅では、ビールは飲まないことにしているので、迷わずノンアルコールビールにする。カレーを食べて腹ごしらえを済ましたが、スーパーブルーってのは美味かったね。

後半戦スタート。7km走って今日のコース最良のポイントである周防大橋にかかった。この橋は、1040mの斜張橋でアーチのてっぺんから山口湾、周防灘が一望できる。絶景かなだ。しかし、大型車が通ると揺れて怖い。

何年前、キララ博のあった阿知須を抜け、チンタラマンタラ宇部新川に向かう。ここも

12km～13km と長い。宇部新川では、山口大医学部通りにはいなければならない。昨年はミスって3km 遠回りをした。

道に迷った時は即、人に尋ねる。これがジャーニーランの鉄則で、今回は訊きまくり、首尾よく医学部通りに入って昨年の雪辱を果たすことができた。

医学部前を走り、残すところ5km になった。丘に沈む真っ赤な夕日を眺めながら、小野田カソリック老人ホームに到着。11時間ばかりのジャーニーラン初日が終わった。

ホームでは、おばあちゃんたちが迎えてくれた。中でも、98歳（シャンと歩ける）のおばあちゃんが私の手を取って額に擦り付け、「明日も気をつけて行きんしゃいな、お願いします。」と何度も言って涙を流してくれた。思わず私も感動泣きした。

金銭や物を寄附することは誰だってできる。脚で「元気」を子供達やお年寄りにあげることは、私達にしかできない。そして私達は、笑顔をもらう。それがスマイルラン。

今年も、来てよかった。